



2023年2月14日

各位

会社名 サークレイス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 佐藤 潤
 (コード番号: 5029 東証グロース)
 問合わせ先 取締役 CFO 工藤 正通
 TEL. 050-1744-7546

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年2月14日開催の取締役会において、2022年5月12日に公表しました2023年3月期(2022年4月1日から2023年3月31日)通期業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

1. 2023年3月期通期業績予想の修正(2022年4月1日から2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益 又は当期純 損失(△)	1株当たり 当期純利益 又は1株当 たり当期純 損失(△)
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,783	235	221	220	53.94
今回修正予想(B)	2,511	64	59	△28	△6.74
増減額(B-A)	△272	△170	△161	△248	
増減率	△9.8%	△72.7%	△72.9%		
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	2,266	150	139	175	52.41

2. 通期業績予想の修正理由

当第3四半期累計期間においては、旺盛なDX需要が追い風となり、過去最高の第3四半期累計売上高となりました。しかしながら、コンサルティングサービスにおいては、顧客都合による大型プロジェクトの凍結や一部システム開発プロジェクトにおける納期遅延対応などにより売上高が当初計画より155百万円減少する見込みです。また、プラットフォームサービスにおいては、十分な体制を整えられなかったことなどの理由で、当初計画より117百万円減少する見込みです。その結果、売上高に関しましては、当初計画より272百万円減少し2,511百万円になる見込みです。

損益につきましては、売上高減少に伴い売上総利益が減少したことに加え、納期遅延による遅延損害金を損害賠償損失引当金として25百万円を特別損失に計上したことおよび繰延税金資産の取崩を50百万円実施見込みであること等により、営業利益は当初計画比170百万円減の64百万円、経常利益は当初計画比161百万円減の59百万円、当期純利益は当初計画比248百万円減の△28百万円となる見込みです。特別損失に計上しました損害賠償損失引当につきましては、本日公表の「損害賠償損失引当の計上に関するお知らせ」に記載のとおりです。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上